

地域づくり考房 

ゆめ通信

{ Vol.057 }
2026 3.25

特集 ONE TEAM プロジェクト・あるぷすタウン

学生プロジェクト活動紹介(YUME column) / ゆにまる



地域づくり考房「ゆめ」
キャラクター こう坊

考房『ゆめ』は松本大学の全学生を対象に、学生と地域住民とのふれあいを大切にして取り組む地域連携活動の支援を行っています。

ごあいさつ

三寒四温、少しずつ春の気配が感じられるこの頃、今年度の『ゆめ』の学生の活動を振り返ると一段と成長した姿が見られて感慨深い思いで心が温かくなります。

新入生歓迎焼肉大会での「だるまさんが転んだ」で「はじめの一步」をスタートし、松本市内散策を幾つかのミッションに従って名所を巡る形式で行われたONE TEAMは、高校生を含めたグループがオープンチャットをフル活用しポイント争うものでした。「他のグループと一緒に写真を撮ったチーム」は秘密のミッションポイントにほっこりしました。地域の皆さんと雨の上高地も自然の凄さを味わえた思い出となりました。四賀地区・新村地区・学生による現状と課題の発表会、ゼミ学生と合同の上土映画祭など学生が企画に加わり、楽しみながら自然な形で多くのことを学んでいきました。高校生も参加する形が加わり来年度も益々人との繋がりを大切にして成長する学生に期待したいと思います。



学校法人松本学園
松本大学

ワン チーム ONE TEAM プロジェクト

概要

地域づくり考房『ゆめ』では、学生の地域活動の「第一歩」として、「ONE TEAMプロジェクト」を企画しています。地域と交流しながら活動すること、地域に生きる人々の想いを知ることを目的に、様々なテーマのもと活動しています。今号では、10月から3月までに行った活動を紹介します。



11 月「あげつちシネマフェスティバル」開催



11

11月22日(土)・23日(日)の両日、ONE TEAMプロジェクト「上土シネマフェスティバル」～「映画で魅せるあなたの夢と居場所」～を開催しました。例年、上土商店街振興組合と協働し、かつての映画の街「あげつち」を現在のまちづくりに生かすためのイベント運営に挑戦しています。今年度はメイン会場1日目の企画を大学生に任せていただきました。『ゆめ』の学生だけでなく、増尾ゼミ・向井ゼミとも協力し、映画上映の他にも各種の上土まちづくりを推進する企画を考えました。映画の上映に先立ち上土ロケ地巡りフィールドワークを実施し、一般の方も含めた4つのグループでロケ地巡り、あげつちの面白いところ・美味しいところ探しを行い、映画上映前のステージで観客が見守るなか報告会を行いました。映画上映は、のべ100人以上が集まり、上土がロケ地となった「流浪の月」、楽都松本に関わりミュージカル映画「ウオンカとチョコレート工場のはじまり」を上映しました。映画に造詣の深いD J志田一穂氏のトークショーでは、パネルディスカッション形式で学生たちとの映画にまつわる楽しい話題を楽しむことができました。映画は、見ている人のものの見方・考え方により人それぞれ異なる感想をもつことができます。そのことが際立つ作品を



上映でき、さらに各企画も多くの参加者がかつての映画の街「あげつち」にノスタルジックな思いを馳せ、改めて映画の持つ魅力に自分の夢や居場所を再認識するような時空を創造できたまちづくりイベントとなりました。



学生の感想



今年度、初めて上土シネマフェスティバルへ参加させていただき、ポスターデザインを担当しました。上土は昔からの映画の街ということで明るいデザインながらもレトロな雰囲気となるように作りました。

また、『流浪の月』を見た後に開催されたトークショーでは映画の感想、他小断など色々なお話しをしてより映画について考える機会となり楽しかったです。(観光3年 手塚春花)

10月 安曇野市明科 旧国鉄篠ノ井線廃線敷探訪



10 10月11日(土)に「知る人ぞ知る地域の観光資源」と題して、安曇野市明科にある旧国鉄篠ノ井線廃線敷を散策するイベントを行いました。

始めに、地元のガイドとしてご活躍されている3名の方のご案内で、廃線敷の歴史や地域の取組み等についてお話がありました。お話の内容を理解した後、いよいよ約4kmにわたる散策に移ります。落ち葉に敷き詰められた廃線敷遊歩道。鉄道好きにはたまらず、道中にある約3万本のけやきの木が、私たちの散策に色を添えます。



途中、踏切や信号機、標識などがそのままの形として残されており歴史の重みと、かつてここを列車が行きかっていたことが不思議なくらいな気持ちにもなりました。

時間はあっという間に過ぎ、最後は意見交換会を行いました。学生も観光客へのアピール、更なる遊歩道の整備やバリアフリー化など、地元の観光資源を生かした今後への展望について語ってくれました。

12月 四賀地区・新村地区・松本大学交流会

今 今年度、四賀地区いきいきサロンの皆様との交流会は、場所を変えて大学構内で新村地区の皆様を交えて行いました。四賀地区34名、新村地区9名、学生11名でそれぞれの地区の活動内容と課題を発表した後、7グループに分かれて「地域の交流で楽しみにしていること」「地域で大学生ができる事」をテーマに熱心な話し合いが実現しました。どの地区も少子高齢化とサロンへの参加者が少ない悩みを話され、それでも工夫しながらイベントを実践されていまし

た。大学生と話す姿に喜びの表情を浮かべ地区の若者に期待し、地区行事を何とか継続していければと話されていました。お昼には詩吟の披露や袖の会の皆様の詐欺予防寸劇で盛り上がり、「うっかり八兵衛」と学生の飛び入りに大爆笑の一時を過ごしました。大学でのグループワークに不安はありましたが、学生による進行の良さと発表により満足いく会となりました。最後にフォークダンスを年の差・地区を超えて実施して交流に花を添えてくれました。





梓乃森祭!!「出店と出展」 大いに盛り上がる



10月18日・19日の2日間、梓乃森祭が盛大に開催されました。『ゆめ』の活動をしている学生は、模擬店で韓国料理の定番「トッポギ」と「五平餅」を出店し、教室展示では『ゆめ』の活動状況をプロジェクトごとに出展しました。

「トッポギ」とは、韓国のお餅をコチュジャンや砂糖で甘辛く煮た料理で、その珍しさにお客さんが殺到。2日分がほぼ1日目で完売する大盛況でした。五平餅もボリュームの多さから売れ行きも好調でした。

教室展示では、プロジェクトごと年間の活動状況を分かりやすく模造紙等にまとめて展示。日頃の活動の成果が垣間見える素晴らしいものとなりました。

多くの学生や地域の方々に、『ゆめ』の活動を知ってもらいたい機会となりました。



地域の伝統行事に参加! ええじゃん栄村



毎年学生が楽しみにしている栄村の「どうろく神」。今年は雪が少ないと聞いていましたが、出発の日に大雪となりました。「まるでみんなを歓迎してくれているようだね」と、地域の方が話してくださいました。栄村に着き、それぞれが書初めに抱負を書いたり、夕食の準備をしました。鍋を囲んで会話も弾み、夕食後にはカードゲームでレクリエーションをして親睦も深めました。

2日目、どうろく神当日は快晴でした。子どもたちと一緒にお賽銭を入れる雪像をつくる時、干支である馬の特徴を捉えながら作っていました。また、白熱した雪合戦も繰り広げられ、大学生も夢中で楽しんでいました。

毎年栄村の行事に仲間に入れていただき、地域の皆さんの温かさに触れています。学生は次に栄村に行く日を心待ちにしています。



学生の感想



秋の普請とどうろく神に参加しました。秋の普請では山から田んぼまでの水路の落ち葉拾いを、どうろく神では地域の子供たちとかまくらを作りながらどんど焼きをしました。どちらの行事も地域の方と深くかかわってのもので、普段はない交流や体験ができてとても新鮮でした。

(観光1年 飯沼鈴)

想いをつなぐ **サンタプロジェクト**



各地のサンタプロジェクトが一堂に会する「サンタサミット」が9月に開催され、松本の他に県内外5地区からの参加がありました。今回は松本が開催地ということで、当日の企画運営等を「サンタプロジェクトまつもと」の社会人・学生が協力して行いました。各地の活動報告では、それぞれ工夫されている取り組みなどを聞き、学びになりました。交流会では各地の皆さまがお持ちいただいた色鮮やかなお菓子を手に取りながら、会話に花も咲きました。また、戦後80年ということもあり、松本の社会人メンバーによる平和を考える絵本の読み聞かせもありました。

サンタプロジェクトは11月末～12月頭に実施し、協力書店様や市民サンタの皆さまの温かな思いにより、368冊の本が集まりました。学生が毎年心を込めてデザインしている認定証や贈呈箱も好評です。今年も子どもたちに皆さまの想いと共に本を届けることができました。



学生の感想



今年度の松本大学サンタ・プロジェクト・まつもとは、プロジェクト創立者の大澤先生をお招きした勉強会や、募金活動、認定書づくりなどメンバーで協力して準備を行ってきました。そして今年も、沢山の市民サンタの方に参加していただき、沢山の本を子どもたちに贈ることができました。本当にありがとうございました！

(観光2年 小林桜花)

1年間の成果の**総まとめ** **活動報告会** **開催**

3月9日(月)に年度末恒例の「活動報告会」を開催し、15の団体が約5分間の時間を使い、1年間の活動の成果を報告しました。プロジェクトごと思考を凝らした資料に沿って発表を行い、聞いている学生も真剣そのものでした。発表の後はグループワークを行いました。活動中の思い出話や裏話、また活動を通して成長できたことや日々の生活に役立っていることなど、ざっくばらんに意見が飛び交っていました。グループワークを通して、自分の所属していないプロジェクトの様子も知ることが出来たようで、非常に有意義な時間となりました。新年度を間近に控え、更なる活力を養いました。



2026年2月14日(土)・15日(日)開催

学生プロジェクト 「あるぷすタウン」

「本当の仕事をやってみたくて楽しかった。」「お花飾りが楽しかった。」「スーパーの『何yume』と書いてあるのを貼るのが大変だった」あるぷすタウンに参加した小学生が感想を書いてくれました。初日に40名と例年に比べて少なかったが2日目は90名の小学生が18の職業を体験し、給料を貰い、スーパーやアカデミーで使用する街づくりが体験できる企画が今年も行われました。学生のこだわりは『ハローワークには保護者は入れないこと』『保護者は現金で喫茶や食べ物を買ってもらうこと』『稼いだお金を使い切ってもらうこと』小学生が考えて職業を学べるように保護者の手助けを受けずに計画的に学んでもらおうと計画してきました。どの感想を見ても自主的に体験出来て来年も来たい、中学生になっても企画などに関わりたいなど前向きな意見が多かったです。保護者の皆様も「笑顔で接していてとても好感が持てました。」「とても素晴らしい企画です。これからも続けて頂きたい。」など相対的に高評価でありました。

私が作ったギター
よい音がするかしら



心を込めて
今日はお父さんにフラワー贈ります



箸とゴム
鉄砲作り、なかなか難しいな



博物館資料に命名する子供達



ぬり絵で看板を作りました。
ピース



皆さん税金を納めてくださいね



朝日村のピーズを使った
スイーツいかがですか



ハイチーズ
皆さんいい顔してますね



This is big ジェンガ



スタッフ一同大満足
苦しかったけど喜んでもらえた！

お客様のためにスーパーでは
大切に商品を並べています。



常にきれいに、
清掃の仕事も大切です



発車オーライ、右オーライ、左オーライ
運転楽しいな

真剣なまなざしで
安全を確認してます



これから制服着て
現場に急行します。火の用心



チョコレート溶かして
チョコフォンデュ完成



鯛焼きがなかなか
うまくいかないんだよな



ご結婚おめでとうございます。
祝福のフラワーシャワーです



すぐろくで進むと火災が、
でも保険に入ってた。



本日の任務
災害によって道が閉鎖された、すぐ出動



これからはドローンの操縦技術は
大切なアイテムだ



はい美味しい
五平餅いかがですか



マスターどうやったら
美味しいコーヒー入れられるの



1日楽しくお仕事体験できました。
大満足です。ピース

学生の感想



あるぶすタウンは今年度で8回目の開催となりました。

まず、あるぶすタウンが2日間盛大に開催できましたこと、また本プロジェクトに関わってくださった多くの方々へ、心より御礼を申し上げます。

本年度は、引き続き昨年度の経験やご縁に加えて、新たな関わりを築きながら1年間活動しました。企画段階からプロジェクトメンバーや専門家の皆様の積極的な姿勢に支えられました。当日はスタッフの皆様の柔軟な対応と子どもたちの活躍により、ひとつの“まち”をつくりあげることができました。

重ねて、関わってくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(観光3年 藤森成望・手塚春花)

松本BBS会

更生保護に 取り組む



松本BBS会は、非行をしてしまった少年たちの更生をサポートする活動をしています。安曇野市にある少年院「有明高原寮」へ伺い、スポーツ交流やクリスマス会の実施、社会復帰の近い少年の不安や悩みなどを聞く座談会などを行っています。社会人と学生と一緒に参加しているので、メンバーにとっても様々な考えを知ることができたり、自分を見つめ直すことができる機会になっています。

また、保護観察中の少年とのレクリエーション活動も年に3~4回企画しています。今年はスポーツ、バーベキュー、そば打ち体験などを通して交流しました。活動中は、メンバーも少年も一緒になって楽しめます。同じ時間を共有する中で、BBS会の活動が少年たちにとって良い思い出や少しでも励みになれば嬉しいです。

学生の感想



少年と向き合う時間は、自分自身を見つめ直す時間になりました。また、学生部のリーダーとして他地区のBBS会や関連団体の方々とお話をさせていただき、改めて更生には多くの方が関わっていると感じました。

(総経3年 石川穂ノ香)

「バレンタインスイーツフェア」の開催 「支援会ゆにまる」の挑戦はつづく



1月31日(土)・2月1日(日)アイシティ21にて高大合同販売「バレンタインスイーツフェア」を開催しました。「支援会ゆにまる」が、昨年度開発したマーケティングをしてきた朝日村ビーツと安曇野チーズをつかったチーズケーキ「あさひのルビーフロマージュ」を販売しました。「支援会ゆにまる」は、コミュニティ・ビジネスを学ぶ高校生の実験・実証の場である夏のイベント、合同販売「デパートゆにっと」を支援する学生有志団体です。今回は、「デパートゆにっと」に向け、主に初めて商品開発や販売会を体験する高校生を対象に、スイーツ開発をお題にして地域活動を試行するのが目的です。「あさひのルビーフロマージュ」は、レアとベイクドのダブル(二段重ね)の濃厚なチーズケーキですが、多くのお客様から後味さっぱりとか、白いはずのチーズケーキがなぜかピンクというところに魅力を感じられています。真紅の株の一種であるビーツが味覚と視覚に訴えています。また説明し続けた開発ストーリーも特長となり、リピーターやカットケーキを召



し上がった後にホールケーキを持ち帰られる方、チーズケーキは苦手でもこれは美味しいという方、普段はどこに行けば手に入るのかと尋ねられる方、後で賞賛のお電話をいただく方などのお客様がいます。商品開発はただ単にモノが形になるだけでなく、商品価値を上げるストーリーがあり、それをプロデュースする必要があることを高校生に伝えることができました。

学生の感想



ゆにまるの活動として、11月には縄手通りにある四柱神社での恵比寿講に参加し、お祭りの雰囲気を楽しみながらケーキの提供をすることができました。2月には山形村アイシティでのバレンタインスイーツの販売を商業高校の高校生たちと行い、お客さんに商品の魅力を伝え、みんなで売り切ることができました。

(総経3年 濱希美)

編集後記

今年度を振り返ると、学生の主体性による企画運営が多くありました。とりわけONETEAMプロジェクトは本格的に各プロジェクトに参画する前の地域活動の試行という位置づけですが、今年度は学生の手で企画の意義を出発点として活動を模索してつくりこみ実践に移すことに挑戦できました。流行りの「PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)」のひとつと考えられますが、成果の即効性や評価の客観性に短所があるとされています。卒業生を見ると、『ゆめ』の活動を通じて能力開発され個人内で「絶対的な」変化が起きていて、異世代間コミュニケーション力、地域社会課題を自分事とする問題意識や主体性やリーダー性の発現などが一目瞭然で、自分たちでも認識しています。これからは、知識を取り入れ、考え比較判断して、表現するスループットが重要視される社会です。地域活動から得られる能力はこのスループットの基本です。『ゆめ』の地域づくりの活動を通じて、多くの学生がこのような生涯に渡る学びを体感できるとよいですね。(さんざわ)

お問い合わせ

松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村2095-1

松本大学内7号館2階

開館日時: 月~金 10:00~18:00

TEL: 0263-48-7213 FAX: 0263-48-7216

E-mail: community@t.matsu.ac.jp



<https://www.matsumoto-u.ac.jp/yume/>

